



羽合小学校 学校通信

平成26年8月27日 NO, 66

勉強は何のために

2学期を始めるにあたって、始業式で話をしました。今年の夏休みも、スポーツや勉強に頑張ったことや家族との行楽、ひさびさに会う親戚の方との出会いなど、それぞれのこどもたちがたくさんの思い出を作った夏休みだったと思います。

しかし、夏休みには8月6日や9日の原爆の日、15日の終戦記念日など戦争と平和について考える機会もたくさんありました。8月12日は1985年に日航機が御巣鷹の峰に墜落したくさんの方が犠牲者になった日でもあります。また、ご承知のように広島県では大雨による土石流で50名を超える方が犠牲となり、行方不明の方もまだたくさんおられます。

このような時こそ、わたしたちは過去を振り返り、これからどんな社会を作っていくのか考える時なのだと思います。また、その社会を築いていくために、自分はどう行動するか考え、決意する時でもあるように思います。

低学年のこどもたちには少し難しい話なのですが、来年でも再来年でも良いのです。考える時期はこれからです。

私も含めて、ずっと考えていかなければならない事なのだと思います。

では、どんな社会を作っていけば良いのでしょうか。いろいろお考えはあるのだと思いますが、例えば「**平和で安全で、みんなが幸せになれる社会**」を作りたいということであれば、たくさんの方の賛同が得られるのではないのでしょうか。では、どうしたらそんな社会ができるのでしょうか？

「**だから勉強をするのだ**」と思います。平和で安全でみんなが幸せに暮らしていくためにどうしたらいいか、自分はどう行動するのか**考えることが出来るために勉強をする**のです。「自分一人が頑張ったって」と思うこどもたちもいるかもしれませんが、だから、どうしたらいいか**考え行動する**のです。それは**自分の進路を決め、自分の生き方を決めていく**ということに他なりません。国語も社会も算数も、学級活動も道徳もスポーツも習い事も、勉強のすべてはみんなが幸せになれる社会を作るためにあるのです。**少しずつ、でも途切れることなく考えていきたい**ものです。よろしくお願いします。

【ありがとうございました】

今朝、児童玄関であいさつをしていると、登校してきたこどもたちが落とし物を届けてくれました。登校中に見つけたとのこと。落とし物の中には現金が入っていたので長瀬の駐在所に届けました。落とした方が早く見つかるといいですね。財布やカードなど落としたら大変困る物はたくさんあります。今回のように落とした現金がそのまま届けられ、落とし主の元に戻っていく社会は素晴らしい社会だと思います。**落とした方が困っているということに思いを巡らすことのできる**日本は素晴らしい国だなあと 생각합니다。このこどもたちがこの社会を引き継いでいきます。

羽合小学校 寺谷英則